

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅡ講座・准教授
氏名 Name	井上さゆり
専門分野 Academic Field	ビルマ古典音楽・古典文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ビルマ古典歌謡における伝承と創作
<p>本研究の目的は、ビルマ古典歌謡における伝承と創作の過程を明らかにすることである。書承と口承で音楽が伝承される過程及び創作が為される過程を明らかにすることを目的とし、研究計画に従い以下の作業を行った。</p> <p>(1) 平成 26～29 年度科研費基盤 (C) の計画に従いビルマ古典歌謡の楽譜の整理を進めた。豎琴奏者故ウー・ミンマウンの手書き楽譜画像約 3000 枚の整理、データベース化を行い、この成果を 2017 年 7 月に国際学会 International Council for Traditional Music において“Musical Notations in Burmese Classical Songs’ Oral Tradition: Harpist U Myint Maung’s Challenges in Transcribing Music”というタイトルで口頭発表予定である。</p> <p>(2) 国立民族学博物館共同研究「東南アジアのポピュラーカルチャー」の共同研究員として、報告者の研究テーマである「ビルマにおけるメディアと歌謡史」の研究を進め、6 月 5 日に東南アジア学会第 95 回研究大会において「ビルマの近現代歌謡—メディアを通して生まれる歌謡—」とのタイトルで口頭発表を行った。これに基づき、次年度刊行予定の共著原稿を執筆した。古典歌謡の創作を経て 20 世紀に登場したレコードや映画、ラジオといったメディアとの関係の中で流行歌謡が生まれていく過程について分析を行った。</p> <p>(3) 9 月に現地調査を実施し、現在進めている 20 世紀以降の歌謡史とメディアに関する資料を収集した。特にビルマのレコード史の資料を中心に収集を行った。</p>	